

琉球大学人文社会学部規程

平成30年2月28日
制 定

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人琉球大学組織規則第27条第2項の規定に基づき、琉球大学人文社会学部（以下「本学部」という。）の授業科目、単位、履修方法その他必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

第2条 本学部は、人文社会系の専門的、学際的分野において真理を探究し、それを基に、個人の尊厳と基本的人権を尊重する平和・共生社会の形成者、社会全体の持続的発展に寄与する人材を育成する。

2 各学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次の表に掲げるとおりとする。

学科	教育研究上の目的
国際法政学科	法学・政治学・国際関係学の分野で専門的かつ豊かな学際性を有する研究を行い、それを基に、持続可能な発展と平和・共生社会を可能にするための構想力・実践力を備えた人を育てる。
人間社会学科	人間と社会に関する専門的かつ豊かな学際性を有する研究を行い、それを基に、社会的弱者に配慮し、心豊かで、安心・安全に暮らせる社会を実現するための実践力を備えた人を育てる。
琉球アジア文化学科	琉球とアジアを中心とする歴史・文化に関する専門的かつ豊かな学際性を有する研究を行い、それを基に、文化の理解にとどまらず、それを発信し、継承発展させる実践力を備えた人を育てる。

(プログラム及びコース)

第3条 各学科に、履修上の区分として、次の表に掲げるプログラム及びコースを置く。

学科	プログラム	コース
国際法政学科	法学プログラム	
	政治・国際関係学プログラム	

人間社会学科	哲学・教育学プログラム	哲学コース，教育学コース
	心理学プログラム	
	社会学プログラム	社会学コース，社会福祉学コース，マスコミ学コース
琉球アジア文化学科	歴史民俗学プログラム	
	文学プログラム	
	言語学プログラム	

2 前項の規定に定めるもののほか、プログラム及びコースに関し必要な事項は、別に定める。

(共通教育等の授業科目の種類等)

第4条 共通教育及び専門基礎教育の授業科目の種類、単位数、履修方法等は、琉球大学共通教育等履修規程の定めるところによる。

(専門教育の授業科目の種類等)

第5条 専門教育の授業科目の種類、履修方法等は、別表に掲げるとおりとする。

(授業科目の公示)

第6条 各学期に開講する授業科目、授業時間、単位数及び担当教員は、学期の初めに公示する。ただし、臨時に開講する授業科目については、その都度、公示する。

(単位)

第7条 専門教育の授業科目の単位の計算は、次に掲げる基準により行う。

- (1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、教育上必要があると認められる場合には、30時間の授業をもって1単位とすることができる。
- (2) 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、教育上必要があると認められる場合には、30時間の授業をもって1単位とすることができる。
- (3) 1つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合において、講義及び演習については係数3(ただし、演習については、教育上必要があると認められる場合には係数1.5とする。)、実験及び実習については係数1(ただし、教育上必要があると認められる場合には係数1.5とする。)に対し、それぞれの授業時間を乗じて得た数値の和が45時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修

の成果を評価して単位を授与することが適当であると認められる場合には、これらに必要な学修を考慮して、単位数を定めるものとする。

3 前2項の規定に基づく各授業科目の単位数及び週時間については、別表に掲げるとおりとする。

(登録、試験、単位の認定等)

第8条 登録、試験、単位の認定等については、琉球大学各学部共通細則の定めるところによる。

(編入学)

第9条 編入学については、琉球大学編入学規程の定めるところによる。

(特別編入学)

第10条 特別編入学については、琉球大学学則第29条の2の規定の定めるところによる。

(転入学)

第11条 転入学については、琉球大学転入学規程の定めるところによる。

(再入学)

第12条 再入学については、琉球大学再入学規程の定めるところによる。

(転学部及び転学科)

第13条 転学部及び転学科については、琉球大学転学部、転学科、転課程に関する規程の定めるところによる。

(転学)

第14条 本学部の学生で他の大学に入学又は転入学を希望する者は、指導教員及び学部長を経て学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第15条 留学については、琉球大学留学等及び特別聴講学生に関する規程の定めるところによる。

(卒業の要件)

第16条 卒業するには、琉球大学（以下「本学」という。）に4年以上在学し、別表に掲

げる単位を修得しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、第3年次特別編入学者の卒業の要件は、本学に2年以上在学し、別表に掲げる単位（第3年次特別編入学以前に在学していた大学、短期大学、高等専門学校等で修得した単位のうち、本学の卒業要件に係る単位として換算する単位（以下「換算単位」という。）を含む。）を修得するものとする。この場合において、換算単位については、教授会が判定する。

（教員免許）

- 第17条 教育職員の免許状授与の資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）の定めるところにより、別に定める単位を修得しなければならない。

（研究生）

- 第18条 研究生については、琉球大学研究生規程の定めるところによる。

（特別聴講学生）

- 第19条 特別聴講学生については、琉球大学留学等及び特別聴講学生に関する規程の定めるところによる。

（科目等履修生）

- 第20条 科目等履修生については、琉球大学科目等履修生規程の定めるところによる。

（外国人学生）

- 第21条 外国人学生については、琉球大学外国人学生規程の定めるところによる。

（指導教員）

- 第22条 学生の修学、進路、就職、学生生活等の指導のため、各学科の年次ごとに指導教員を置く。
- 2 前項の規定に定めるもののほか、指導教員については、琉球大学における指導教員に関する規程の定めるところによる。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年2月27日）

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、必要と認める場合には、在学者に平成31年度以降の入学

者のために開設された授業科目を履修させることができる。この場合において、当該授業科目の履修を改正前の規定に基づく授業科目の履修とみなし、単位を与える。

(別表) 授業科目の種類及び履修方法

国際法政学科 (法学プログラム、政治・国際関係学プログラム)

学部共通科目 (必修科目)

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
学部共通基盤科目	HS101	基礎演習Ⅰ (大学生基礎力)	2	○	(2-0)	1	前	大学で学ぶための基礎的な技能の演習 (導入)
	HS102	基礎演習Ⅱ (最適解導出力育成)	2	○	(2-0)	2	前	口頭発表・討論・レポート作成を中心とした基礎的な演習 (展開)
	HS103	基礎演習Ⅲ (平和共生・沖縄理解)	2	○	(2-0)	2	後	特定課題を中心とした口頭発表・討論・レポート作成の演習 (発展)

学部共通科目 (選択科目)

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
平和共生・沖縄理解基盤科目	HS111	共生社会入門	2		(2-0)	1~2	前	「共生社会」というテーマの下で、哲学・教育学・心理学・社会学・社会福祉学・マスコミ学の立場から論じる講義
	P&P111	共生哲学	2		(2-0)	1	前	共生について哲学的に考察する。
	P&P161	教育学入門	2		(2-0)	1	後	教育の基礎について考察する。
	SOC111	社会学原論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	集団、社会、文化、社会変動に関する基礎理論
	SW100	社会福祉原論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	社会福祉の概念・構造・歴史
	PSY101	心理学概論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	心理学の主要な理論と研究の概説。
	MCM170	マス・コミ原論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	マス・メディアの概観・社会的機能と影響
	HS113	琉球アジア研究概論	2		(2-0)	2	前	琉球・沖縄の歴史・言語・文学、日本の文学・歴史など、日本を含む琉球、アジアの個々の地域について、あるいは中国と琉球・沖縄、日本と中国などの交流の歴史にふれ、いま何をどのように研究が進められているのか、なぜ研究をする必要があるのか、解決しなければならない課題はなにか等を講義する。

注1：上記「平和共生・沖縄理解基盤科目」から4単位以上履修すること。なお4単位を超えて修得した単位は専門自由科目に振り替えることができる。

学科共通科目 (必修科目)

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
学科目基盤	LAW101	法学概論	2	○	(2-0)	1	前	法学の全般的概説の講義
	PIR111	政治・国際関係学概論	2	○	(2-0)	1	後	政治・国際関係学の概説

学科共通科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
学科発展科目	(法学系科目)							
	LAW201	憲法Ⅰ（人権）	2		(2-0)	1～4	前	憲法の人権部分についての基礎理論の講義
	LAW202	憲法Ⅱ（統治）	2		(2-0)	1～4	後	憲法の統治機構についての基礎理論の講義
	LAW251	民法Ⅰ（総則）	2		(2-0)	1～4	後	民法総則についての基礎理論の講義
	LAW252	民法Ⅱ（物権）	2		(2-0)	2～4	前	物権についての基礎理論の講義
	LAW221	刑法総論	2		(2-0)	2～4	前	刑法総論についての基礎理論の講義
	LAW231	刑事手続と人権	2		(2-0)	2～4	前	刑事訴訟法についての基礎理論の講義
	LAW241	講義国際法	2		(2-0)	2～4	前	国際法についての基礎理論の講義
	LAW211	基礎行政法	2		(2-0)	2～4	前	行政法についての基礎理論の講義
	LAW253	民法Ⅲ（債権総論）	2		(2-0)	2～4	後	債権総論についての基礎理論の講義
	LAW233	刑事政策	2		(2-0)	2～4	後	刑事政策についての基礎理論の講義
	LAW254	民法Ⅳ（債権各論）	2		(2-0)	3～4	前	債権各論についての基礎理論の講義
	LAW291	基礎社会保障法	2		(2-0)	1～4	後	社会保障法についての基礎理論の講義
学科発展科目	(政治・国際関係学系科目)							
	PIR211	政治過程論	2		(2-0)	1～4	前又は後	政治過程分析の理論と方法
	PIR212	公共政策学	2		(2-0)	1～4	前又は後	公共政策分析の理論と方法
	PIR221	政治思想史	2		(2-0)	2～4	前又は後	近現代政治思想史の概観
	PIR222	日本政治外交史Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前又は後	明治から現代までの日本の政治と外交の概観
	PIR223	日本政治外交史Ⅱ	2		(2-0)	2～4	前又は後	明治から現代までの日本の政治と外交の概観
	PIR224	行政学	2		(2-0)	2～4	前又は後	現代行政の理論と分析
	PIR225	地方自治論	2		(2-0)	2～4	前又は後	地方自治の現状と課題
	PIR311	国際関係史	2		(2-0)	1～4	前又は後	現代国際関係の史的分析
	PIR312	国際政治学Ⅰ	2		(2-0)	1～4	前又は後	国際政治分析の理論と方法
	PIR313	国際政治学Ⅱ	2		(2-0)	1～4	前又は後	国際政治分析の理論と方法
	PIR321	比較政治学Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前又は後	比較政治学の理論と方法
	PIR322	比較政治学Ⅱ	2		(2-0)	2～4	前又は後	比較政治学の理論と方法
	PIR323	国際社会学	2		(2-0)	2～4	前又は後	国際社会学の理論と方法

注1：上記科目から20単位以上履修すること。ただし所属プログラムから16単位以上、他プログラムから4単位以上履修すること。

なお他プログラムの要件を超えて修得した単位は、専門自由科目に振り替えることができる。

注2：法学プログラムにおいては、学科発展科目のうち「基礎社会保障法」はプログラム発展科目として扱う。

法学プログラム専門科目（必修科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム 基盤 科目	LAW111	法学演習Ⅰ	2	○	(2-0)	3	前	法学の個別問題についての研究・報告・討論
	LAW112	法学演習Ⅱ	2	○	(2-0)	3	後	法学の個別問題についての研究・報告・討論
	LAW113	法学演習Ⅲ	2	○	(2-0)	4	前	法学の個別問題についての研究・報告・討論
	LAW114	法学演習Ⅳ	2	○	(2-0)	4	後	法学の個別問題についての研究・報告・討論

法学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム 発展 科目	LAW222	刑法各論	2		(2-0)	2~4	後	刑法各論についての基礎理論の講義
	LAW232	演習刑事人権論	2		(2-0)	2~4	後	刑事法についての演習 LAW221「刑法総論」を履修済みであること。
	LAW242	演習国際法Ⅰ（総論）	2		(2-0)	2~4	後	国際法の総論についての演習 LAW241「講義国際法」を履修済みであること。
	LAW243	演習国際法Ⅱ（各論）	2		(2-0)	2~4	後	国際法の各論についての演習 LAW241「講義国際法」を履修済みであること。
	LAW281	基礎労働法	2		(2-0)	2~4	後	労働法についての基礎理論の講義
	LAW271	民事手続法Ⅰ（判決手続）	2		(2-0)	2~4	後	民事の判決手続についての基礎理論の講義
	LAW212	展開行政法	2		(2-0)	2~4	後	行政法についての基礎理論展開の講義 LAW211「基礎行政法」を履修済みであること。
	LAW292	展開社会保障法	2		(2-0)	2~4	前	社会保障法についての基礎理論展開の講義 LAW291「基礎社会保障法」を履修済みであること。
	LAW282	展開労働法	2		(2-0)	3~4	前	労働法についての基礎理論展開の講義 LAW281「基礎労働法」を履修済みであること。
	LAW213	応用行政法	2		(2-0)	2~4	後	行政法についての応用理論の講義 LAW211「基礎行政法」を履修済みであること。
	LAW293	応用社会保障法	2		(2-0)	2~4	前	社会保障法についての応用理論の講義 LAW291「基礎社会保障法」を履修済みであること。
	LAW283	応用労働法	2		(2-0)	3~4	前	労働法についての応用理論の講義 LAW281「基礎労働法」を履修済みであること。
	LAW272	民事手続法Ⅱ（執行・保全）	2		(2-0)	3~4	前	民事手続の執行・保全の基礎理論の講義 LAW271「民事手続法Ⅰ（判決手続）」を履修済みであること。
	LAW273	倒産処理法	2		(2-0)	3~4	前	倒産処理法についての基礎理論の講義 LAW271 「民事手続法Ⅰ（判決手続）」を履修済みであること。
	LAW261	商法Ⅰ	2		(2-0)	3~4	前	商法についての基礎理論の講義
	LAW262	商法Ⅱ	2		(2-0)	3~4	後	商法についての基礎理論の講義
	LAW263	商法Ⅲ	2		(2-0)	3~4	後	商法についての基礎理論の講義
	LAW301	法学特殊講義 A	2		(2-0)	1~4	前又は後	法学の特定分野についての講義
	LAW302	法学特殊講義 B	2		(2-0)	1~4	前又は後	法学の特定分野についての講義
	LAW303	法学特殊講義 C	2		(2-0)	1~4	前又は後	法学の特定分野についての講義
	LAW304	法学特殊講義 D	2		(2-0)	1~4	前又は後	法学の特定分野についての講義
	LAW305	法学特殊講義 E	2		(2-0)	1~4	前又は後	法学の特定分野についての講義
	LAW306	法学特殊講義 F	2		(2-0)	1~4	前又は後	法学の特定分野についての講義
	LAW331	公法学特殊講義 A	2		(2-0)	1~4	前又は後	公法学の特定分野についての講義
	LAW332	公法学特殊講義 B	2		(2-0)	1~4	前又は後	公法学の特定分野についての講義
	LAW333	公法学特殊講義 C	2		(2-0)	1~4	前又は後	公法学の特定分野についての講義
	LAW334	公法学特殊講義 D	2		(2-0)	1~4	前又は後	公法学の特定分野についての講義
	LAW335	公法学特殊講義 E	2		(2-0)	1~4	前又は後	公法学の特定分野についての講義
	LAW351	私法学特殊講義 A	2		(2-0)	1~4	前又は後	私法学の特定分野についての講義

LAW352	私法学特殊講義 B	2		(2-0)	1~4	前又は後	私法学の特定分野についての講義
LAW353	私法学特殊講義 C	2		(2-0)	1~4	前又は後	私法学の特定分野についての講義
LAW354	私法学特殊講義 D	2		(2-0)	1~4	前又は後	私法学の特定分野についての講義
LAW355	私法学特殊講義 E	2		(2-0)	1~4	前又は後	私法学の特定分野についての講義
LAW356	私法学特殊講義 F	2		(2-0)	1~4	前又は後	私法学の特定分野についての講義
LAW357	私法学特殊講義 G	2		(2-0)	1~4	前又は後	私法学の特定分野についての講義
LAW358	私法学特殊講義 H	2		(2-0)	1~4	前又は後	私法学の特定分野についての講義
LAW391	卒業研究 I	2		(2-0)	4	前	法学の特定問題についての研究
LAW392	卒業研究 II	2		(2-0)	4	後	法学の特定問題についての研究
LAW411	特修法学基礎演習	2		(2-0)	2~4	前	法務研究科進学特修演習
LAW421	特修憲法 I	2		(2-0)	3~4	後	法務研究科進学特修講義 LAW201「憲法 I (人権)」を履修済み、かつ LAW481「特修憲法演習」を「成績A」で履修済 みであること。
LAW422	特修憲法 II	2		(2-0)	4	前	法務研究科進学特修講義 LAW201「憲法 II (統治)」を履修済み、かつ LAW481「特修憲法演習」を「成績A」で履修済 みであること。
LAW451	特修契約法 I	2		(2-0)	3~4	前	法務研究科進学特修講義 LAW251「民法 I (総則)」を履修済み、かつ LAW491「特修民法演習 I」またはLAW492「特修 民法演習 II」を「成績B」で履修済みであるこ と。
LAW452	特修契約法 II	2		(2-0)	3~4	前	法務研究科進学特修講義 LAW251「民法 I (総則)」を履修済み、かつ LAW491「特修民法演習 I」またはLAW492「特修 民法演習 II」を「成績B」で履修済みであるこ と。
LAW453	特修契約法 III	2		(2-0)	3~4	後	法務研究科進学特修講義 LAW253「民法 III (債権総論)」を履修済み、か つLAW491「特修民法演習 I」またはLAW492「特 修民法演習 II」を「成績B」で履修済みである こと。
LAW454	特修所有権法	2		(2-0)	3~4	前	法務研究科進学特修講義 LAW252「民法 II (物権)」を履修済み、かつ LAW491「特修民法演習 I」またはLAW492「特修 民法演習 II」を「成績A」で履修済みであるこ と。
LAW455	特修担保法	2		(2-0)	4	後	法務研究科進学特修講義 LAW454「特修所有権法」を履修済み、かつ LAW491「特修民法演習 I」またはLAW492「特修 民法演習 II」を「成績A」で履修済みであるこ と。
LAW456	特修不法行為法	2		(2-0)	3~4	前	法務研究科進学特修講義 LAW251「民法 I (総則)」を履修済み、かつ LAW491「特修民法演習 I」またはLAW492「特修 民法演習 II」を「成績B」で履修済みであるこ と。
LAW457	特修家族法	2		(2-0)	4	後	法務研究科進学特修講義 LAW454「特修所有権法」を履修済み、かつ LAW491「特修民法演習 I」またはLAW492「特修 民法演習 II」を「成績A」で履修済みであるこ と。
LAW431	特修刑法 I	2		(2-0)	4	前	法務研究科進学特修講義 LAW432「特修刑法 II」・LAW433「特修刑法 III」 を履修済みであること。
LAW432	特修刑法 II	2		(2-0)	3~4	後	法務研究科進学特修講義 LAW221「刑法総論」を履修済みで、かつLAW483 「特修刑法演習」を「成績A」で履修済みであ ること。
LAW433	特修刑法 III	1		(1-0)	3~4	後	法務研究科進学特修講義 LAW432「特修刑法 II」と同時履修すること。 LAW221「刑法総論」を履修済みで、かつLAW483 「特修刑法演習」を「成績A」で履修済みであ ること。
LAW461	特修商法 I	2		(2-0)	4	後	法務研究科進学特修講義 LAW261「商法 I」を履修済みで、かつLAW495 「特修商法演習」を「成績A」で履修済みであ ること。

	LAW462	特修商法Ⅱ	2	(2-0)	4	後	法務研究科進学特修講義 LAW461「特修商法Ⅰ」と同時履修すること。 LAW261「商法Ⅰ」を履修済みで、かつLAW495 「特修商法演習」を「成績A」で履修済みである こと。
	LAW471	特修民事訴訟法	2	(2-0)	4	後	法務研究科進学特修講義 LAW497「特修民事訴訟法演習」を「成績A」で 履修済みであること。
プログラム 発展科目	LAW441	特修刑事訴訟法Ⅰ	2	(2-0)	3～4	後	法務研究科進学特修講義 LAW485「特修刑事訴訟法演習」を「成績B」以 上で履修済みであること。
	LAW442	特修刑事訴訟法Ⅱ	2	(2-0)	4	前	法務研究科進学特修講義 LAW485「特修刑事訴訟法演習」を「成績B」以 上で履修済みであること。
	LAW481	特修憲法演習	2	(2-0)	3～4	前	法務研究科進学特修演習 LAW211「基礎行政法」を履修していることが望 ましい。
	LAW491	特修民法演習Ⅰ	2	(2-0)	2～4	後	法務研究科進学特修演習 LAW251「民法Ⅰ（総則）」およびLAW252「民法 Ⅱ（物権）」を履修していることが望ましい。
	LAW492	特修民法演習Ⅱ	2	(2-0)	2～4	後	法務研究科進学特修演習 LAW251「民法Ⅰ（総則）」およびLAW252「民法 Ⅱ（物権）」を履修していることが望ましい。
	LAW483	特修刑法演習	2	(2-0)	3～4	前	法務研究科進学特修演習 LAW221「刑法総論」およびLAW222「刑法各論」 を履修していることが望ましい。
	LAW495	特修商法演習	2	(2-0)	3～4	後	法務研究科進学特修演習 LAW261「商法Ⅰ」を履修していることが望まし い。
	LAW497	特修民事訴訟法演習	2	(2-0)	3～4	後	法務研究科進学特修演習 LAW271「民事手続法Ⅰ（判決手続）」を履修し ていることが望ましい。
	LAW485	特修刑事訴訟法演習	2	(2-0)	3～4	前	法務研究科進学特修演習 LAW231「刑事手続と人権」を履修していること が望ましい。

注1：上記科目から22単位以上(ただし学科発展科目のうち16単位を超えた法学系科目の単位を含む)修得すること。

注2：22単位を超えた分は専門自由科目に振り替えることができる。

政治・国際関係学プログラム専門科目（必修科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム基盤科目	PIR131	政治・国際関係学演習Ⅰ	2	○	(2-0)	3	前	政治・国際関係学における特定課題の研究
	PIR132	政治・国際関係学演習Ⅱ	2	○	(2-0)	3	後	政治・国際関係学における特定課題の研究
	PIR141	政治・国際関係学演習Ⅲ	2	○	(2-0)	4	前	政治・国際関係学における特定課題の研究
	PIR142	政治・国際関係学演習Ⅳ	2	○	(2-0)	4	後	政治・国際関係学における特定課題の研究
	PIR143	卒業研究	4	○	(0-2)	4	通年	特定課題の論文作成

注1：上記科目から12単位履修すること。ただし演習は同一学期内での同時履修は出来ない。

注2：演習の組は選考により決定される。

政治・国際関係学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム発展科目	PIR411	海外研修A	2		(0-2)	1～4	前又は後	特定地域・国の総合的現地調査
	PIR412	海外研修B	2		(0-2)	1～4	前又は後	特定地域・国の総合的現地調査
	PIR413	海外研修C	2		(0-2)	1～4	前又は後	特定地域・国の総合的現地調査
	PIR421	原典外書講読A	2		(2-0)	2～4	前又は後	原典・外書文献の講読
	PIR422	原典外書講読B	2		(2-0)	2～4	前又は後	原典・外書文献の講読
	PIR423	原典外書講読C	2		(2-0)	2～4	前又は後	原典・外書文献の講読
	PIR424	原典外書講読D	2		(2-0)	2～4	前又は後	原典・外書文献の講読
	PIR521	政治社会学	2		(2-0)	2～4	前又は後	政治社会学の理論と方法
	PIR522	現代政治理論	2		(2-0)	2～4	前又は後	現代政治の分析に関する一般的・基礎的理論
	PIR523	福祉政策論	2		(2-0)	2～4	前又は後	福祉政策の現状と課題
	PIR524	地域経営論	2		(2-0)	2～4	前又は後	地方自治体等の地域づくり政策の理論と実践
	PIR525	計量政治学	2		(2-0)	2～4	前又は後	数量データを用いた初歩的な政治分析の習得
	PIR526	市民社会論	2		(2-0)	2～4	前又は後	現代市民社会の意義・機能についての理論と実証
	PIR527	歴史政策学	2		(2-0)	2～4	前又は後	政策に歴史を活用する方策の研究と事例分析
	PIR528	ジェンダーと政治	2		(2-0)	2～4	前又は後	ジェンダー視角からの政治理論と分析
	PIR621	国際政治経済論	2		(2-0)	2～4	前又は後	国際政治経済論の理論と方法
	PIR622	平和研究	2		(2-0)	2～4	前又は後	平和研究の理論と方法、事例分析
	PIR623	外交政策論	2		(2-0)	2～4	前又は後	外交政策の分析と事例研究
	PIR624	国際協力論	2		(2-0)	2～4	前又は後	国際協力の政治・経済・社会的側面の分析
	PIR625	地球環境論	2		(2-0)	2～4	前又は後	環境をめぐる展開する政治・社会関係の分析
	PIR626	比較社会文化論	2		(2-0)	2～4	前又は後	比較社会文化論の理論と事例の分析
	PIR627	社会運動論	2		(2-0)	2～4	前又は後	社会運動論の理論と事例の分析
	PIR651	東アジア地域研究	2		(2-0)	2～4	前又は後	東アジアの政治・社会過程の具体的分析
	PIR652	東南アジア地域研究	2		(2-0)	2～4	前又は後	東南アジアの政治・社会過程の具体的分析
	PIR653	アメリカ地域研究	2		(2-0)	2～4	前又は後	南北アメリカの政治・社会過程の具体的分析
	PIR654	ヨーロッパ地域研究	2		(2-0)	2～4	前又は後	ヨーロッパの政治・社会過程の具体的分析
	PIR721	政治学特殊講義A	2		(2-0)	2～4	前又は後	政治学における特殊問題
	PIR722	政治学特殊講義B	2		(2-0)	2～4	前又は後	政治学における特殊問題
	PIR723	政治学特殊講義C	2		(2-0)	2～4	前又は後	政治学における特殊問題
	PIR724	政治学特殊講義D	2		(2-0)	2～4	前又は後	政治学における特殊問題
PIR821	国際関係学特殊講義A	2		(2-0)	2～4	前又は後	国際関係学における特殊問題	
PIR822	国際関係学特殊講義B	2		(2-0)	2～4	前又は後	国際関係学における特殊問題	
PIR823	国際関係学特殊講義C	2		(2-0)	2～4	前又は後	国際関係学における特殊問題	
PIR824	国際関係学特殊講義D	2		(2-0)	2～4	前又は後	国際関係学における特殊問題	
PIR921	哲学概論	2		(2-0)	2～4	前又は後	哲学の概論	

注1 上記の科目から22単位以上(ただし学科発展科目のうち16単位を超えた政治・国際関係学系科目の単位を含む)修得すること。

注2 22単位を超えた分は専門自由科目に振り替えることができる。

注3 規程に基づく交換留学先で取得した単位のうち、8単位を上限としてプログラム発展科目に認定することができる。認定については、取得先大学の便覧とシラバスに拠って、専門教育科目に相当しプログラム発展科目に読替が可能であることを条件とする。

国際法政学科（法学プログラム、政治・国際関係学プログラム）卒業要件（学部規程第16条別表）

区 分		プログラム		
		法学	政治・国際関係学	
専門教育	学部共通専門科目	学部共通基盤科目（必修）	6	6
		平和共生・沖縄理解基盤科目（選択）	4	4
	学科共通専門科目	学科基盤科目（必修）	4	4
		学科発展科目（選択）※1	20	20
	プログラム専門科目	プログラム基盤科目（必修）	8	12
		プログラム発展科目（選択）※2	22	22
専門自由科目※3		26	22	
小 計		90	90	
共通教育※4	教養領域・総合領域・基幹領域（情報関係）	健康運動系科目	2	2
		その他の領域	20	32
		人文系科目	2	2
		社会系科目	2	2
		自然系科目	2	2
		総合科目		
		琉大特色・地域創生科目		
		キャリア関係科目		
	情報関係科目			
		（平和共生・沖縄理解科目群※5）	（ 6 ）	（ 6 ）
	基幹領域（外国語）	第1外国語	8	8
第2外国語		4	4	
小 計		34	34	
総 単 位 数		124	124	

※1 法学プログラム（法学系科目16単位以上、政治・国際関係学系科目4単位以上）

法学プログラムにおいては、学科発展科目のうち基礎社会保障法はプログラム発展科目として扱う。
政治・国際関係学プログラム（政治・国際関係学系科目16単位以上、法学系科目4単位以上履修）

※2 法学プログラムにおいては、学科発展科目のうち16単位を超えた法学系科目の単位を含む。

政治・国際関係学プログラムにおいては、学科発展科目のうち16単位を超えた政治・国際関係学系科目の単位を含む。

※3 専門自由科目とは次のとおりとする。

- ・他学科・他学部提供の専門教育科目
- ・本学部、本学科、及び所属プログラムの選択科目の履修要件を超えて修得した専門教育科目
- ・卒業要件に相当する単位数を超えた共通教育科目（10単位まで）

※4 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

共通教育科目のうち、法学プログラムは教養領域（健康運動系科目）および基幹領域（外国語）を除く合計が20単位以上になるよう、政治・国際関係学プログラムは教養領域（健康運動系科目）を除く合計が32単位以上になるよう履修すること。

その際、人文系科目、社会系科目、自然系科目からそれぞれ2単位以上取得すること。

そのうち6単位は「平和共生・沖縄理解科目群」に含まれる科目であること。

※5 平和共生・沖縄理解科目群

科目番号	科目名	科目番号	科目名	科目番号	科目名
人06	西洋思想と日本・中国の思想	総62	環境と文学	琉33	現代の国際関係
人09	環境の哲学	琉01	平和論	琉41-2	琉球アジア研究入門
人19	人間と宗教	琉02	核の科学	琉46	沖縄の政治と社会
人42	東洋の歴史と文化	琉03	女性と社会	琉48	うちなーぐちあしび
人43	西洋の歴史と文化	琉05	沖縄の基地と戦跡Ⅰ	琉50	沖縄の学力と教育
人44	日本の歴史と文化	琉06	沖縄の基地と戦跡Ⅱ	琉51	琉球語入門Ⅰ
人47	宗教と世界	琉14	琉球の文学	琉52	琉球語入門Ⅱ
人67	比較思想文化論	琉22	琉球の自然	琉54	沖縄の歴史入門
社06	戦争と平和の諸問題	琉23	琉球の自然保護	琉55	琉球学入門
総12	環境の保全	琉24	沖縄のサンゴ礁	琉56	琉球の自然と人
総14	環境問題	琉25	琉球弧の自然誌	琉71	現代沖縄地域論
総47	総合環境学概論	琉26	琉球の地理		

【履修方法】

1. 一学期に登録できる単位数の上限は、20単位である。ただし、集中講義はこれの中に含まない。

直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。

また、教員免許等の資格取得予定者には指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。

2. 教員免許を取得したい学生は、教育学部の提供する教職科目以外に教員職員免許法施行規則第4条により必要な科目を履修すること。

人間社会学科（哲学・教育学プログラム、心理学プログラム、社会学プログラム）

学部共通科目（必修科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
学部共通 目 基 盤 科	HS101	基礎演習Ⅰ（大学生基礎力）	2	○	(2-0)	1	前	大学で学ぶための基礎的な技能の演習（導入）
	HS102	基礎演習Ⅱ（最適解導出力育成）	2	○	(2-0)	1～2	前又は後	口頭発表・討論・レポート作成を中心とした基礎的な演習（展開）
	HS103	基礎演習Ⅲ（平和共生・沖縄理解）	2	○	(2-0)	1～2	前又は後	特定課題を中心とした口頭発表・討論・レポート作成の演習（発展）

学部共通科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
平和共生・ 沖縄理解 基盤科目	HS111	共生社会入門	2		(2-0)	1～2	前	「共生社会」というテーマの下で、哲学・教育学・心理学・社会学・社会福祉学・マスコミ学の立場から論じる講義
	LAW291	基礎社会保障法	2		(2-0)	1～2	後	社会保障法についての基礎理論の講義
	PIR311	国際関係史	2		(2-0)	1～2	前又は後	現代国際関係の史的分析
	P&P111	共生哲学	2		(2-0)	1	前	共生について哲学的に考察する。
	HS113	琉球アジア研究概論	2		(2-0)	2	前	琉球・沖縄の歴史・言語・文学、日本の文学・歴史など、日本を含む琉球、アジアの個々の地域について、あるいは中国と琉球・沖縄、日本と中国などの交流の歴史にふれ、いま何をどのように研究が進められているのか、なぜ研究をする必要があるのか、解決しなければならない課題はなにか等を講義する。

注1：学部共通科目（選択科目）から4単位以上修得すること。

注2：学部共通科目（選択科目）の履修要件(4単位)を超えた分は専門自由科目に振り替えることができる。

学科共通科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
学科基盤 科目	P&P112	人間の探究	2		(2-0)	1	後	人間について哲学的に考察する。
	P&P161	教育学入門	2		(2-0)	1	後	教育の基礎について考察する。
	PSY101	心理学概論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	心理学の主要な理論と研究の概説。
	SOC111	社会学原論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	集団、社会、文化、社会変動に関する基礎理論
	SW100	社会福祉原論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	社会福祉の概念・構造・歴史
	MCM170	マス・コミ原論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	マス・メディアの概念・社会的機能と影響
学科発展 科目	P&P211	哲学原論	2		(2-0)	2	前	哲学の基礎概念や主要問題を概説する。
	P&P261	教育社会学	2		(2-0)	2	後	教育の実践・制度の現実を社会学の視点から考察する。
	PSY202	社会・集団・家族心理学	2		(2-0)	2	後	対人関係、集団、家族などにおける人の意識や行動についての概説。
	PSY203	社会心理学	2		(2-0)	2	後	対人関係、集団、家族などにおける人の意識や行動についての概説。（教職課程のものはこちらを履修すること）
	PSY201	臨床心理学概論	2		(2-0)	2	後	臨床心理学の成り立ちや代表的な理論などについての概説。
	PSY301	精神医学（精神疾患とその治療）	2		(2-0)	3	後	精神疾患総論および薬剤による心身の変化などについての概説。
	SOC213	国際比較社会学Ⅱ	2		(2-0)	2	後	グローバル化した社会に関する基礎理論とその展開
	SW200	障害者福祉論	2		(2-0)	2	前	障害者福祉の理念と意義及び法とサービス体系等
MCM270	地域と平和	2		(2-0)	2	前又は後	ジャーナリズムと地域平和形成の諸問題研究	

注1：学科共通科目（学科基盤科目）から6単位以上、学科共通科目（学科発展科目）から4単位以上修得すること。

※心理学プログラムにおいては、学科発展科目のうち、「社会・集団・家族心理学」、「臨床心理学」はプログラムコア基盤科目、「精神医学」はプログラムコア発展科目として扱う。

注2：学科共通科目（学科基盤科目）の履修要件(6単位)を超えた分はプログラム発展科目に振り替えることができる。

注3：学科共通科目（学科発展科目）の履修要件(4単位)を超えた分はプログラム発展科目に振り替えることができる。

哲学・教育学プログラム専門科目（必修科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
コア プログラム 科目	P&P201	哲学・教育学演習Ⅰ	2	○	(2-0)	2	前	哲学・教育学の基礎理論に関する研究発表と討議。
	P&P202	哲学・教育学演習Ⅱ	2	○	(2-0)	2	後	哲学・教育学の基礎理論に関する研究発表と討議。
プログラム コア 発展 科目	P&P301	プログラム専門演習Ⅰ	2	○	(2-0)	3	前	哲学・教育学の主要理論に関する研究発表と討議。
	P&P302	プログラム専門演習Ⅱ	2	○	(2-0)	3	後	哲学・教育学の主要理論に関する研究発表と討議。
	P&P401	卒業研究Ⅰ	2	○	(2-0)	4	前	卒業論文の作成。
	P&P402	卒業研究Ⅱ	2	○	(2-0)	4	後	卒業論文の作成。

哲学・教育学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム 発展 科目	P&P113	哲学史	2		(2-0)	1	後	哲学を歴史的に概観する。
	P&P212	宗教哲学入門	2		(2-0)	2～4	前	宗教の基本的な思想について哲学的に考察する。
	P&P213	倫理学原論	2		(2-0)	2～4	前	倫理の基礎概念や主要問題を概説する。
	P&P214	比較思想論	2		(2-0)	2～4	前	西洋思想と東洋思想を比較検討する。
	P&P215	論理学概論	2		(2-0)	2～4	後	現代論理学の基礎について概説する。
	P&P216	真理と認識A	2		(2-0)	2～4	後	真理と認識について哲学的に考察する。
	P&P217	真理と認識B	2		(2-0)	2～4	後	真理と認識について哲学的に考察する。
	P&P218	真理と認識C	2		(2-0)	2～4	後	真理と認識について哲学的に考察する。
	P&P219	思考と存在A	2		(2-0)	2～4	後	思考と存在について哲学的に考察する。
	P&P220	思考と存在B	2		(2-0)	2～4	後	思考と存在について哲学的に考察する。
	P&P221	思考と存在C	2		(2-0)	2～4	後	思考と存在について哲学的に考察する。
	P&P222	哲学A	2		(2-0)	2～4	前	哲学の諸問題を考察する。
	P&P223	哲学B	2		(2-0)	2～4	後	哲学の諸問題を考察する。
	P&P224	倫理学A	2		(2-0)	2～4	前	倫理学の諸問題を考察する。
	P&P225	倫理学B	2		(2-0)	2～4	後	倫理学の諸問題を考察する。
	P&P311	宗教哲学A	2		(2-0)	2～4	前	宗教思想について哲学的に考察する。
	P&P312	宗教哲学B	2		(2-0)	2～4	前	宗教思想について哲学的に考察する。
	P&P313	世界の宗教	2		(2-0)	2～4	前	世界の主要な宗教を哲学的に検討する。
	P&P314	現代の哲学	2		(2-0)	2～4	前	現代の哲学的状況について概説する。
	P&P315	認知哲学	2		(2-0)	2～4	前	知識や認知について哲学的に考察する。
	P&P316	宗教学A	2		(2-0)	2～4	前	宗教について哲学的に考察する。
	P&P317	宗教学B	2		(2-0)	2～4	前	宗教について哲学的に考察する。
	P&P318	論理学と哲学	2		(2-0)	2～4	後	論理学と哲学の関係について考察する。
	P&P411	科学と哲学	2		(2-0)	2～4	前	科学と哲学の関係について考察する。
	P&P361	教育の社会理論	2		(2-0)	2～4	前	教育について社会理論的に考察する。
	P&P262	教職入門	2		(2-0)	2～4	前	学校教員の役割・職務について考察する。
	P&P263	教育原理	2		(2-0)	2～4	前	教育の理念・歴史・思想について考察する。
	P&P264	教育学特論	2		(2-0)	2～4	後	教育に関わる特定の問題について考察する。
	P&P265	学校社会学	2		(2-0)	2～4	前	学校教育の実践・制度の現実を社会学の視点から考察する。
	P&P266	教育の社会史	2		(2-0)	2～4	後	教育について社会史的に考察する。
	P&P267	教育調査	2		(0-2)	2～4	後	教育についての調査を行う手法を習得する。
	P&P362	教育課程	1		(2-0)	2～4	前	教育課程に関する理論と実践について考察する。
	P&P363	教育方法	1		(2-0)	2～4	前	教育方法の理論と実践について考察する。
	P&P364	生徒指導論	2		(2-0)	2～4	後	生徒指導について考察する。
	P&P365	教育行政学	2		(2-0)	2～4	前	教育行政について考察する。
	P&P366	教育法	2		(2-0)	2～4	後	教育に関する法について考察する。
	P&P367	教育福祉論A	2		(2-0)	2～4	後	教育と福祉の基本問題について考察する。
P&P368	教育福祉論B	2		(2-0)	2～4	後	教育と福祉の基本問題について考察する。	
P&P369	道徳教育論	2		(2-0)	2～4	後	道徳教育について考察する。	
P&P370	特別活動論	2		(2-0)	2～4	後	特別活動について考察する。	

注1 上記の表に掲載のプログラム発展科目に加えて、人間社会学科内の学科共通科目およびプログラム専門科目は必修科目を除き、すべて哲学・教育学プログラムのプログラム発展科目に振り替えることができる。

注2 上記の表または注1の科目から30単位以上修得すること。

注3 30単位を超過した分は、専門自由科目に振り替えることができる。

心理学プログラム専門科目（必修科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラムコア 基盤科目	PSY201	臨床心理学概論	2	○	(2-0)	2	後	臨床心理学の成り立ちや代表的な理論などについての概説。
	PSY202	社会・集団・家族心理学	2	○	(2-0)	2	後	対人関係、集団、家族などにおける人の意識や行動についての概説。
	PSY204	心理学概論Ⅱ	2	○	(2-0)	2	前	心理学の成り立ちや、人の心の基本的な仕組み・働きについての概説。
	PSY207	心理学実験	2	○	(1-3)	2	後	実験の計画立案および統計に関する基礎的な知識についての概説と演習。
	PSY205	心理学研究法	2	○	(2-0)	2	後	心理学における実証的研究法やデータを用いた実証的な思考方法、研究倫理などについての概説。
	PSY206	心理学統計法Ⅰ	2	○	(1-1)	2	前	心理学で用いられる統計の基礎的な知識や分析手法についての概説。
プログラムコア 発展科目	PSY208	心理学統計法Ⅱ	2	○	(1-1)	2	後	心理学で用いられる統計のより高度な知識や分析手法についての概説。
	PSY301	精神医学（精神疾患とその治療）	2	○	(2-0)	3	後	精神疾患総論および薬剤による心身の変化などについての概説。
	PSY302	心理学基礎演習	2	○	(0-2)	3	前	特定教員のもとで研究の基礎を構築する。
	PSY303	心理学課題演習	2	○	(0-2)	3	後	個別に課題を設定し、心理学的な研究法によるデータ収集と分析を行い、研究レポートを作成する。
	PSY401	卒業研究Ⅰ	2	○	(0-4)	4	前	特定教員のもとでの実証的な個別研究。
	PSY402	卒業研究Ⅱ	2	○	(0-4)	4	後	特定教員のもとでの実証的な個別研究。

心理学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム 発展科目	PSY203	社会心理学	2		(2-0)	2	後	対人関係、集団、家族などにおける人の意識や行動についての概説。（教職課程のものはこちらを履修すること）
	PSY209	知覚・認知心理学	2		(2-0)	2	後	人の感覚・知覚、認知・思考の機序およびその障害などについての概説。
	PSY305	学習・言語心理学	2		(2-0)	2～3	後	人の行動が変化する過程や言語の習得における機序などについての概説。
	PSY306	神経・生理心理学	2		(2-0)	2～3	後	脳神経系の構造及び機能、記憶・感情等の生理学的反応の機序、高次脳機能障害などについての概説。
	PSY213	心理調査概論	2		(2-0)	2	後	質問紙調査や面接調査など、心理学的な調査法についての概説。
	PSY410	文化心理学	2		(2-0)	3～4	前	文化における個人の心理的過程や、文化比較や異文化間接触などについての概説。
	PSY411	コミュニティ心理学	2		(2-0)	3～4	前	コミュニティと個人との関連性や、地域コミュニティにおける援助システムなどについての概説。
	PSY409	産業・組織心理学	2		(2-0)	3～4	前	組織における人の行動や、職場における問題に対する心理的支援などについての概説。
	PSY308	司法・犯罪心理学	2		(2-0)	3	後	犯罪・非行、犯罪被害および家事事件に関する基本的知識と、司法・犯罪分野における心理的支援などについての概説。
	PSY309	司法心理学	2		(2-0)	3	後	犯罪・非行、犯罪被害および家事事件に関する基本的知識と、司法・犯罪分野における心理的支援などについての概説。（教職課程のものはこちらを履修すること）
	PSY403	発達心理学	2		(2-0)	3～4	前	認知機能、感情・社会性、自己、生涯における心身の発達および、非定型発達についての基礎的な知識や考え方などについての概説。
	PSY407	福祉心理学	2		(2-0)	3～4	前	福祉現場における問題と必要な支援、虐待についての基本的知識などについての概説。
PSY210	心理的アセスメントⅠ	2		(1-3)	3	前	心理的アセスメントの目的、方法、記録、報告についての概説と演習。	

プログラム 発展科目	PSY307	心理的アセスメントⅡ	2		(1-3)	3	後	より高度な心理的アセスメントの方法、展開についての概説と演習。
	PSY405	障害者・障害児心理学	2		(2-0)	3～4	後	身体障害、知的障害、精神障害の概要と、障害者・障害児への心理的支援などについての概説。
	PSY211	心理学的支援法	2		(2-0)	3	後	代表的な心理療法・カウンセリングの概要と、適切な支援、心の健康教育などについての概説。
	PSY412	認知行動療法	2		(2-0)	3～4	前	認知行動療法の背景理論と治療技法及び症例についての概説。
	PSY406	健康・医療心理学	2		(2-0)	3～4	後	ストレスと心身の疾病との関係や、医療現場・保健現場における心理社会的課題と必要な支援などについての概説。
	PSY404	感情・人格心理学	2		(2-0)	3～4	前	感情に関する理論および感情喚起の機序、人格の概念および形成過程などについての概説。
	PSY408	教育・学校心理学	2		(2-0)	3～4	後	教育現場における問題や心理社会的課題、および必要な支援などについての概説。
	PSY214	外国文献講読Ⅰ	2		(2-0)	2	後	心理学の基礎的な外国文献の講読
	PSY313	外国文献講読Ⅱ	2		(2-0)	3	前	心理学の応用的な領域の文献や研究論文の講読
	PSY413	外国文献講読Ⅲ（発展）	2		(2-0)	4	前	心理学の最新の研究論文の講読
	PSY311	心理演習	2		(0-2)	3	前	面接及び心理検査等のロールプレイ並びに事例検討。
	PSY312	心理実習	2		(1-3)	3	前	心理的支援を必要とする実際の施設における見学等の実習。
	PSY212	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）	2		(2-0)	2	前	心身機能と身体構造および様々な疾病や障害、心理的支援が必要な疾病などについての概説。
	PSY304	心理専門職キャリア概論Ⅰ（公認心理師の職責）	2		(2-0)	2～3	前	公認心理師の役割、法的義務、倫理、業務などについての概説。
	PSY310	心理専門職キャリア概論Ⅱ（関係行政論）	2		(2-0)	2～3	後	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野に関係する制度についての概説。

注1 上記の表に掲載のプログラム発展科目に加えて、人間社会学科内の学科共通科目およびプログラム専門科目は必修科目を除き、すべて心理学プログラムのプログラム発展科目に振り替えることができる。

注2 上記の表または注1の科目から22単位以上修得すること。

注3 22単位を超過した分は、専門自由科目に振り替えることができる。

社会学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラムコア基盤科目	SOC211	社会学原論Ⅱ	2		(2-0)	2	前	集団、社会、文化、社会変動に関する基礎理論とその展開
	SOC212	国際比較社会学Ⅰ	2		(2-0)	2	前	グローバル化した社会に関する基礎理論
	SOC214	社会学実習Ⅰ	2		(0-4)	2	前	社会学的テーマに基づく調査の企画・実施
	SOC215	社会学実習Ⅱ	2		(0-4)	2	後	社会学的テーマに基づく調査の企画・実施
	SW201	社会福祉原論Ⅱ	2		(2-0)	2	前	社会福祉の概念・構造・歴史
	SW202	ソーシャルケースワークⅠ	2		(2-0)	2	前	個別援助技術の理論、意義、原則及びその発展
	SW300	相談援助実習Ⅰ	2		(0-2)	3	前	現場体験を通じた専門知識、技術、関連知識の理解
	SW301	相談援助実習Ⅱ	2		(0-2)	3	後	現場体験を通じた専門知識、技術、関連知識の理解
	MCM271	マス・コミ原論Ⅱ	2		(2-0)	2	前	マス・メディアの概念・社会的機能と影響
	MCM272	マス・コミ実習Ⅰ	2		(0-6)	2	前	新聞の製作
	MCM273	マス・コミ実習Ⅱ	2		(0-4)	2	後	テレビ番組の企画・制作
	MCM274	マス・コミ史	2		(2-0)	2	前又は後	マス・メディアの歴史的発展及び機能変遷

注1 上記の科目から8単位以上修得すること。

注2 社会学コースの学生は社会学原論Ⅱ、国際比較社会学Ⅰ、社会学実習Ⅰおよび同Ⅱを必ず含めること。

社会福祉学コースの学生は社会福祉原論Ⅱ、ソーシャルケースワークⅠ、相談援助実習Ⅰを必ず含めること。また、社会福祉士受験資格を希望する学生は相談援助実習Ⅱを必ず含めること。

マス・コミ学コースの学生はマス・コミ原論Ⅱ、マス・コミ実習Ⅰおよび同Ⅱ、マス・コミ史を必ず含めること。

注3：8単位を超過した分は、プログラム発展科目もしくは専門自由科目に振り替えることができる。

社会学プログラム専門科目（必修科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム発展科目	SOC301	専門演習Ⅰ	2	○	(2-0)	3	前又は後	論文研究、調査研究の発表及びその討議
	SOC302	専門演習Ⅱ	2	○	(2-0)	3後又は4前		論文研究、調査研究の発表及びその討議
	SOC401	卒業研究Ⅰ	2	○	(2-0)	3後又は4前		学術研究論文の作成
	SOC402	卒業研究Ⅱ	2	○	(2-0)	4	前又は後	学術研究論文の作成

社会学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム発展科	SOC216	社会調査法Ⅰ	2		(2-0)	2	前	社会調査の理論と技術
	SOC217	社会調査法Ⅱ	2		(2-0)	2	後	社会調査の理論と技術
	SOC221	働くこととつながることの社会学Ⅰ	2		(2-0)	2～3	前又は後	働くこととつながることの理論と現場学習
	SOC222	働くこととつながることの社会学Ⅱ	2		(2-0)	2～3	前又は後	働くこととつながることの理論と現場学習
	SOC223	多文化共生の社会学Ⅰ	2		(2-0)	2～3	前又は後	海外沖縄移民子弟との交流授業
	SOC224	多文化共生の社会学Ⅱ	2		(2-0)	2～3	前又は後	海外沖縄移民子弟との交流授業
	SOC227	家族社会学	2		(2-0)	2～3	前又は後	現代家族の構造と変容
	SOC228	ジェンダーの社会学	2		(2-0)	2～3	前又は後	ジェンダー現象に関する社会学的研究方法と分析の講義
	SOC229	ライフコースの社会学	2		(2-0)	2～3	前又は後	人生軌道の社会学的構造と変容
	SOC230	沖縄移民とアイデンティティ	2		(2-0)	2～3	前又は後	移民とアイデンティティの理論と現場学習
	SOC231	現代社会学研究Ⅰ	2		(2-0)	2～3	前又は後	社会学的諸問題に関する研究方法と分析の講義
	SOC235	境界性の社会学Ⅰ	2		(2-0)	2～3	前又は後	マイノリティや共生の視点から社会学の研究方法を学ぶ
	SOC236	境界性の社会学Ⅱ	2		(2-0)	2～3	前又は後	マイノリティや共生の視点から社会学の研究方法を学ぶ
	SW203	ソーシャルケースワークⅡ	2		(2-0)	2	後	個別援助技術の展開過程と技術
	SW204	相談援助演習Ⅰ	2		(2-0)	2	後	技術援助の基礎的な知識の理解と演習及び事例検討
	SW302	相談援助演習Ⅱ	2		(2-0)	3	前	技術援助の基礎的な知識の理解と演習及び事例検討
	SW303	相談援助演習Ⅲ	2		(2-0)	3	後	実習の総括と援助技術のより深い理解及び事例検討
	SW205	児童福祉論Ⅰ	2		(2-0)	2	前	児童福祉の理念と意義、その発達史
	SW206	児童福祉論Ⅱ	2		(2-0)	2	後	児童福祉のサービス体系及び処遇技術
	SW207	地域福祉の理論と方法	2		(2-0)	2	前	地域福祉の理論及び具体的推進方法等に関する理解

目

プログラム 発展科目	SW208	ソーシャルグループワーク	2	(2-0)	2〜3	前	小集団の理解と集団援助技術の理論、原則、方法
	SW209	公的扶助論	2	(2-0)	2〜3	前又は後	公的扶助の概念・発達史・現実の問題
	SW210	高齢者福祉論	2	(2-0)	2	前	高齢者の生活実態及び関連法及びサービス体系等
	SW304	医学概論	2	(2-0)	3	後	人体構造と機能、疾病等に関する基礎的理解
	SW211	相談援助実習指導Ⅰ	2	(2-0)	2	後	相談援助実習に向けた事前指導
	SW305	相談援助実習指導Ⅱ	2	(2-0)	3	前	相談援助実習に関する事前、事後指導等
	SW306	相談援助実習指導Ⅲ	2	(2-0)	3	後	相談援助実習に関する事後的指導及び見学実習等
	SW212	介護概論	2	(2-0)	2	後	介護の役割と範囲、介護技法など
	SW213	介護技術	2	(2-0)	2	後	具体的な介護技術の理解及び修得
	SW214	就労支援サービス論	2	(2-0)	2〜3	前又は後	各種就労支援サービス関連の法律及びその内容
	SW215	福祉行財政と福祉計画	2	(2-0)	2〜3	前又は後	福祉行財政と福祉計画の実施体制及びその実際
	SW307	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	(2-0)	3	前	相談援助の基盤となる価値観、理念及びその実際
	SW308	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	(2-0)	3	後	専門職として必要な知識、技法に関する理解
	SW216	社会福祉運営管理論	2	(2-0)	2	後	福祉サービスの組織、経営、管理運営に関する理解
	SW217	保健医療概論	2	(2-0)	2	後	医療保険制度及び保健医療サービスに関する理解
	SW400	人体構造及び日常生活行動に関する理解	2	(2-0)	4	前	介護技術の根拠となる人体構造等の理解と、サービス提供における配慮等への理解
	SW401	加齢と障害に関する理解	2	(2-0)	4	後	加齢と障害に関する基礎的な理解と、社会的・心理的支援等への理解
	SW309	権利擁護・成年後見・更生保護	2	(2-0)	3	後	各活動の理念・概要及び活動の実態・課題等
	SW218	社会保障論	2	(2-0)	2	前	社会保障の概念・発達史・現実課題
	SW402	社会福祉特殊講義Ⅰ	2	(2-0)	4	前	教官テーマによる特殊講義
	SW403	社会福祉特殊講義Ⅱ	2	(2-0)	4	後	教官テーマによる特殊講義
	SW404	社会福祉特殊講義Ⅲ	2	(2-0)	4	前	教官テーマによる特殊講義
	MCM275	マス・コミ調査分析	2	(2-0)	2	前又は後	マス・コミの役割分析・世論調査及び諸問題の研究
	MCM276	マスコミュニケーション理論	2	(2-0)	2	前又は後	マス・コミの社会的影響に関する諸理論の研究
	MCM277	映像論	2	(2-0)	2	前又は後	映像メディアの機能・社会的影響
	MCM381	情報と社会Ⅰ	2	(2-0)	3	前	世論・世論調査の基礎理論
	MCM382	情報と社会Ⅱ	2	(2-0)	3	後	世論調査の技術習得・分析
	MCM278	新聞英語Ⅰ	2	(2-0)	2	前又は後	英文記事講読・英文ニュースの聴取訓練
MCM279	新聞英語Ⅱ	2	(2-0)	2	前又は後	英文記事の書き方・英文ニュースの聴取訓練	
MCM383	大衆文化論	2	(2-0)	3	前又は後	大衆社会における文化状況、その機能と影響	
MCM384	地域メディア論	2	(2-0)	3	前又は後	島嶼社会におけるコミュニケーションの問題研究	
MCM280	マス・コミ特殊講義Ⅰ	2	(2-0)	2	前又は後	ジャーナリズム・コミュニケーション研究	
MCM281	マス・コミ特殊講義Ⅱ	2	(2-0)	2	前又は後	メディアの現場からのジャーナリズム論	

注1 上記の表に掲載のプログラム発展科目に加えて、人間社会学科内の学科共通科目およびプログラム専門科目は必修科目を除き、すべて社会学プログラムのプログラム発展科目に振り替えることができる。

注2 上記の表または注1の科目から26単位以上修得すること。

注3 26単位を超過した分は、専門自由科目に振り替えることができる。

人間社会学科（哲学・教育学プログラム、心理学プログラム、社会学プログラム）

区 分		プログラム			
		哲学・教育学	心理学	社会学	
専門教育	学部共通専門科目	学部共通基盤科目	6	6	6
		平和共生・沖縄理解基盤科目	4	4	4
	学科共通専門科目	学科基盤科目	6	6	6
		学科発展科目	4	4	4
	プログラム専門科目	プログラムコア基盤科目	4	12	8
		プログラムコア発展科目	8	12	8
		プログラム発展科目	30	22	26
専門自由科目※1		26	22	26	
小 計		88	88	88	
共通教育※2	教養領域・総合領域・ 基幹領域（情報関係）	健康運動系科目	2	2	2
		その他の領域	22	22	22
		人文系科目	2	2	2
		社会系科目	2	2	2
		自然系科目	2	2	2
		総合科目			
		琉大特色・地域創生科目			
		キャリア関係科目	2	2	2
	情報関係科目				
	（平和共生・沖縄理解科目群※3）		（ 6 ）	（ 6 ）	（ 6 ）
基幹領域（外国語）	第1外国語	8	8	8	
	第2外国語	4	4	4	
小 計		36	36	36	
総 単 位 数		124	124	124	

※1 専門自由科目とは次のとおりとする。

- ・学部共通科目（選択科目）の履修要件を超えた専門教育科目
- ・他プログラム・他学科・他学部提供の専門教育科目
- ・本プログラムの選択科目の履修要件を超えた専門教育科目
- ・卒業要件に相当する単位数を超えた共通教育科目（10単位まで）

※2 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

※3 平和共生・沖縄理解科目群

以下の科目は、それぞれ人文系科目、社会系科目、総合科目、琉大特色・地域創生科目としてもカウントされる。

科目番号	科目名	科目番号	科目名	科目番号	科目名
人06	西洋思想と日本・中国の思想	総62	環境と文学	琉33	現代の国際関係
人09	環境の哲学	琉01	平和論	琉41-2	琉球アジア研究入門
人19	人間と宗教	琉02	核の科学	琉46	沖縄の政治と社会
人42	東洋の歴史と文化	琉03	女性と社会	琉48	うちなーぐちあしび
人43	西洋の歴史と文化	琉05	沖縄の基地と戦跡Ⅰ	琉50	沖縄の学力と教育
人44	日本の歴史と文化	琉06	沖縄の基地と戦跡Ⅱ	琉51	琉球語入門Ⅰ
人47	宗教と世界	琉14	琉球の文学	琉52	琉球語入門Ⅱ
人67	比較思想文化論	琉22	琉球の自然	琉54	沖縄の歴史入門
社06	戦争と平和の諸問題	琉23	琉球の自然保護	琉55	琉球学入門
総12	環境の保全	琉24	沖縄のサンゴ礁	琉56	琉球の自然と人
総14	環境問題	琉25	琉球弧の自然誌	琉71	現代沖縄地域論
総47	総合環境学概論	琉26	琉球の地理		

【履修方法】

- 共通教育科目については、「その他の領域」から22単位以上取得すること。
その際、人文系科目、社会系科目、自然系科目、キャリア関係科目からそれぞれ2単位以上取得すること。
22単位のうち、平和共生・沖縄理解科目群の科目も6単位以上取得すること。
- 一学期に登録できる単位数の上限は、20単位である。ただし、集中講義はこの中に含まない。
直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
また、教員免許等の資格取得予定者には指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
- 教員免許を取得したい学生は、教育学部の提供する教職科目以外に教員職員免許法施行規則第4条により必要な科目を履修すること。

琉球アジア文化学科（歴史・民俗プログラム、文学プログラム、言語学プログラム）

学部共通科目（必修科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
学部共通基盤科目	HS101	基礎演習Ⅰ（大学生基礎力）	2	○	(2-0)	1	前	大学で学ぶための基礎的な技能の演習（導入）および大学四年間の生活について知り、卒業後のキャリア形成のための基礎を学ぶ
	HS102	基礎演習Ⅱ（最適解導出力育成）	2	○	(2-0)	1～2	前又は後	口頭発表・討論・レポート作成を中心とした基礎的な演習（展開）
	HS103	基礎演習Ⅲ（平和共生・沖縄理解）	2	○	(2-0)	1～2	前又は後	特定課題を中心とした口頭発表・討論・レポート作成の演習（発展）

学部共通科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
平和共生・沖縄理解基盤科目	HS111	共生社会入門	2		(2-0)	1～2	前	「共生社会」というテーマの下で、哲学・教育学・心理学・社会学・社会福祉学・マスコミ学の立場から論じる講義
	LAW291	基礎社会保障法	2		(2-0)	1～2	後	社会保障法についての基礎理論の講義
	PIR311	国際関係史	2		(2-0)	1～2	前又は後	現代国際関係の史的分析
	P&P111	共生哲学	2		(2-0)	1	前	共生について哲学的に考察する。
	P&P161	教育学入門	2		(2-0)	1	後	教育の基礎について考察する。
	SOC111	社会学原論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	集団、社会、文化、社会変動に関する基礎理論
	SW100	社会福祉原論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	社会福祉の概念・構造・歴史
	PSY101	心理学概論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	心理学の主要な理論と研究の概説。
	MCM170	マス・コミ原論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	マス・メディアの概観・社会的機能と影響
	HS113	琉球アジア研究概論	2		(2-0)	2	前	琉球・沖縄の歴史・言語・文学、日本の文学・歴史など、日本を含む琉球、アジアの個々の地域について、あるいは中国と琉球・沖縄、日本と中国などの交流の歴史にふれ、いま何をどのように研究が進められているのか、なぜ研究をする必要があるのか、解決しなければならない課題はなにか等を講義する。

注1：上記「平和共生・沖縄理解基盤科目」から4単位以上履修すること。なお4単位を超えて修得した単位は専門自由科目に振り替えることができる。

学科共通科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
盤学 科目基	※他プログラムのプログラムコア基盤科目を学科基盤科目として扱う。							
展学 科目発	※他プログラムのプログラム発展科目を学科発展科目として扱う。							

注1：学科基盤科目として4単位以上、学科発展科目として4単位以上修得すること。

歴史・民俗学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラムコア 基盤科目	RR111	中琉関係史概論Ⅰ	2		(2-0)	1～4	前	中琉関係史に関する基礎を講義する。
	RR112	中琉関係史概論Ⅱ	2		(2-0)	1～4	後	中琉関係史に関する基礎を講義する。
	RR121	琉球史概論Ⅰ	2		(2-0)	1～4	前	琉球史に関する基礎を講義する。
	RR122	琉球史概論Ⅱ	2		(2-0)	1～4	後	琉球史に関する基礎を講義する。
	RR131	琉球民俗学概論Ⅰ	2		(2-0)	1～4	前	民俗学の基本的事項について、琉球に関する基礎を講義する。
	RR132	琉球民俗学概論Ⅱ	2		(2-0)	1～4	後	民俗学の基本的事項について、琉球に関する基礎を講義する。

注1 上記の科目から8単位以上修得すること。

歴史・民俗学プログラム専門科目（必修科目・選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラムコア 発展科目	RR211	琉球史基礎演習Ⅰ	2		(2-0)	3	前	琉球史の基礎について発表と討議を行う。
	RR212	琉球史基礎演習Ⅱ	2		(2-0)	3	後	琉球史の基礎について発表と討議を行う。
	RR213	琉球史基礎演習Ⅲ	2		(2-0)	3	前	琉球史の基礎について発表と討議を行う。
	RR214	琉球史基礎演習Ⅳ	2		(2-0)	3	後	琉球史の基礎について発表と討議を行う。
	RR221	琉球史演習Ⅰ	2		(2-0)	4	前	琉球史の展開について発表と討議を行う。
	RR222	琉球史演習Ⅱ	2		(2-0)	4	後	琉球史の展開について発表と討議を行う。
	RR223	琉球史演習Ⅲ	2		(2-0)	4	前	琉球史の展開について発表と討議を行う。
	RR224	琉球史演習Ⅳ	2		(2-0)	4	後	琉球史の展開について発表と討議を行う。
	RR231	琉球民俗学基礎演習Ⅰ	2		(2-0)	3	前	民俗学の基礎について、琉球に関することを中心に発表と討議を行う。
	RR232	琉球民俗学基礎演習Ⅱ	2		(2-0)	3	後	民俗学の基礎について、琉球に関することを中心に発表と討議を行う。
	RR241	琉球民俗学演習Ⅰ	2		(2-0)	4	前	民俗学に関する論文の研究と発表・討議を行う。
	RR242	琉球民俗学演習Ⅱ	2		(2-0)	4	後	民俗学に関する論文の研究と発表・討議を行う。
	RR251	中琉関係史基礎演習Ⅰ	2		(2-0)	3	前	中琉関係史の基礎的な研究領域について発表と討議を行う。
	RR252	中琉関係史基礎演習Ⅱ	2		(2-0)	3	後	中琉関係史の基礎的な研究領域について発表と討議を行う。
	RR261	中琉関係史演習Ⅰ	2		(2-0)	4	後	中琉関係史の専門的な特定領域について発表と討議を行う。
	RR262	中琉関係史演習Ⅱ	2		(2-0)	4	前	中琉関係史の専門的な特定領域について発表と討議を行う。
	RR200	卒業論文	4	○	(4-0)	4	通年	卒業論文を指導する。

注1 上記の科目から12単位以上（卒業論文（必修）4単位含む）修得すること。

歴史・民俗学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム 発展科目	RR311	琉球史史料講読Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前	琉球史上の基礎史料に関する文献を輪読する。
	RR312	琉球史史料講読Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	琉球史上の基礎史料に関する文献を輪読する。
	RR313	琉球史史料講読Ⅲ	2		(2-0)	2～4	前	琉球史上の基礎史料に関する文献を輪読する。
	RR314	琉球史史料講読Ⅳ	2		(2-0)	2～4	後	琉球史上の基礎史料に関する文献を輪読する。
	RR315	琉球史史料講読Ⅴ	2		(2-0)	2～4	前	琉球史上の基礎史料に関する文献を輪読する。
	RR316	琉球史史料講読Ⅵ	2		(2-0)	2～4	後	琉球史上の基礎史料に関する文献を輪読する。
	RR317	琉球史史料講読Ⅶ	2		(2-0)	2～4	前	琉球史上の基礎史料に関する文献を輪読する。
	RR318	琉球史史料講読Ⅷ	2		(2-0)	2～4	後	琉球史上の基礎史料に関する文献を輪読する。
	RR321	琉球史研究Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前	琉球史の特定のテーマについて考究する。
	RR322	琉球史研究Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	琉球史の特定のテーマについて考究する。
	RR323	琉球史研究Ⅲ	2		(2-0)	2～4	前	琉球史の特定のテーマについて考究する。
	RR324	琉球史研究Ⅳ	2		(2-0)	2～4	後	琉球史の特定のテーマについて考究する。
	RR325	琉球史研究Ⅴ	2		(2-0)	2～4	前	琉球史の文化史について考究する。
	RR326	琉球史研究Ⅵ	2		(2-0)	2～4	後	琉球史の文化史について考究する。
	RR327	琉球史研究Ⅶ	2		(2-0)	2～4	前	琉球史の特定のテーマについて考究する。

プログラム 発展科目	RR328	琉球史研究Ⅷ	2		(2-0)	2～4	後	琉球史の特定のテーマについて考究する。
	RR331	琉球民俗学野外調査Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前	民俗学的野外調査の訓練を行う。
	RR332	琉球民俗学野外調査Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	民俗学的野外調査の訓練を行う。
	RR341	歴史伝承史料調査実習Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前	琉球史の伝承史料について屋外調査を行なう。
	RR342	歴史伝承史料調査実習Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	琉球史の伝承史料について屋外調査を行なう。
	RR351	琉球民俗学研究Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前	民俗学の特定のテーマについて考究する。
	RR352	琉球民俗学研究Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	民俗学の特定のテーマについて考究する。
	RR353	琉球民俗学研究Ⅲ	2		(2-0)	2～4	前	民俗学の特定のテーマについて考究する。
	RR354	琉球民俗学研究Ⅳ	2		(2-0)	2～4	後	民俗学の特定のテーマについて考究する。
	RR361	中琉関係史研究Ⅰ	2		(2-0)	2～4	後	中琉関係史の研究論文を用いて講義する。
	RR362	中琉関係史研究Ⅱ	2		(2-0)	2～4	前	中琉関係史の研究論文を用いて講義する。
	RR363	中琉関係史研究Ⅲ	2		(2-0)	2～4	後	中琉関係史の研究論文を用いて講義する。
	RR364	中琉関係史研究Ⅳ	2		(2-0)	2～4	前	中琉関係史の研究論文を用いて講義する。
	RR365	中琉関係史研究Ⅴ	2		(2-0)	2～4	後	中琉関係史の研究論文を用いて講義する。
	RR366	中琉関係史研究Ⅵ	1		(2-0)	2～4	前	中琉関係史の研究論文を用いて講義する。
	RR367	中琉関係史研究Ⅶ	2		(2-0)	2～4	後	中琉関係史の研究論文を用いて講義する。

注1 上記の科目から28単位以上修得すること。

文学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラムコア 基礎科目	RB111	中国文学概論Ⅰ	2		(2-0)	1~4	前	中国文学の基礎的事項について講義する。
	RB112	中国文学概論Ⅱ	2		(2-0)	1~4	後	中国文学の基礎的事項について講義する。
	RB121	日本文学概論Ⅰ	2		(2-0)	1~4	前	日本文学についての基礎知識について講義する。
	RB122	日本文学概論Ⅱ	2		(2-0)	1~4	後	日本文学についての基礎知識について講義する。
	RB131	琉球文学概論Ⅰ	2		(2-0)	1~4	前	琉球文学についての基礎知識について講義する。
	RB132	琉球文学概論Ⅱ	2		(2-0)	1~4	後	琉球文学についての基礎知識について講義する。
	RB141	朝鮮文学概論Ⅰ	2		(2-0)	1~4	前	朝鮮文学の基礎的事項について講義する。
	RB142	朝鮮文学概論Ⅱ	2		(2-0)	1~4	後	朝鮮文学の基礎的事項について講義する。

注1 上記の科目から8単位以上修得すること。

文学プログラム専門科目（必修科目・選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラムコア 発展科目	RB201	琉球文学基礎演習Ⅰ	2		(2-0)	3	前	琉球文学研究の基礎的な事柄について発表と討議を行う。
	RB202	琉球文学基礎演習Ⅱ	2		(2-0)	3	後	琉球文学研究の基礎的な事柄について発表と討議を行う。
	RB211	琉球文学演習Ⅰ	2		(2-0)	4	前	琉球文学に関する研究発表と討議を行う。
	RB212	琉球文学演習Ⅱ	2		(2-0)	4	後	琉球文学に関する研究発表と討議を行う。
	RB221	中国文学基礎演習Ⅰ	2		(2-0)	3	前	中国文学の基礎的な事柄について発表と討議を行う。
	RB222	中国文学基礎演習Ⅱ	2		(2-0)	3	後	中国文学の基礎的な事柄について発表と討議を行う。
	RB231	中国文学演習Ⅰ	2		(2-0)	3	前	中国文学について発表と討議を行う。
	RB232	中国文学演習Ⅱ	2		(2-0)	3	後	中国文学について発表と討議を行う。
	RB241	日本古典文学基礎演習Ⅰ	2		(2-0)	3	前	日本古典文学の基礎的な事柄について発表と討議を行う。
	RB242	日本古典文学基礎演習Ⅱ	2		(2-0)	3	後	日本古典文学の基礎的な事柄について発表と討議を行う。
	RB251	日本古典文学演習Ⅰ	2		(2-0)	4	前	日本古典文学について発表と討議を行う。
	RB252	日本古典文学演習Ⅱ	2		(2-0)	4	後	日本古典文学について発表と討議を行う。
	RB261	日本近代文学基礎演習Ⅰ	2		(2-0)	3	前	日本近現代文学の基礎的な事柄について発表と討議を行う。
	RB262	日本近代文学基礎演習Ⅱ	2		(2-0)	3	後	日本近現代文学の基礎的な事柄について発表と討議を行う。
	RB271	日本近現代文学演習Ⅰ	2		(2-0)	4	前	日本近現代文学の基礎的な事柄について発表と討議を行う。
	RB272	日本近現代文学演習Ⅱ	2		(2-0)	4	後	日本近現代文学の基礎的な事柄について発表と討議を行う。
	RB281	朝鮮文学基礎演習Ⅰ	2		(2-0)	3	前	朝鮮文学の基礎的な事柄について発表と討議を行う。
	RB282	朝鮮文学基礎演習Ⅱ	2		(2-0)	3	後	朝鮮文学の基礎的な事柄について発表と討議を行う。
	RB291	朝鮮文学演習Ⅰ	2		(2-0)	3	前	朝鮮文学について発表と討議を行う。
	RB292	朝鮮文学演習Ⅱ	2		(2-0)	4	後	朝鮮文学について発表と討議を行う。
RB200	卒業論文		4	○	(4-0)	4	通年	卒業論文を指導する。

注1 上記の科目から12単位以上（卒業論文（必修）4単位含む）修得すること。

文学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
	RB301	琉球文学講読Ⅰ	2		(2-0)	2~4	前	琉球文学の代表的な作品の輪読を行う。
	RB302	琉球文学講読Ⅱ	2		(2-0)	2~4	後	琉球文学の代表的な作品の輪読を行う。
	RB303	琉球文学講読Ⅲ	2		(2-0)	2~4	前	琉球文学の代表的な作品の輪読を行う。

プログラム発展科目

RB304	琉球文学講読Ⅳ	2	(2-0)	2~4	後	琉球文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB305	琉球文学特講Ⅰ	2	(2-0)	2~4	前	琉球文学の特殊な事項について講義を行う。
RB306	琉球文学特講Ⅱ	2	(2-0)	2~4	後	琉球文学の特殊な事項について講義を行う。
RB307	琉球文学特講Ⅲ	2	(2-0)	2~4	前	琉球文学の特殊な事項について講義を行う。
RB308	琉球文学特講Ⅳ	2	(2-0)	2~4	後	琉球文学の特殊な事項について講義を行う。
RB309	日本文学特講Ⅰ	2	(2-0)	2~4	前	日本文学の特殊な事項について講義を行う。
RB310	日本文学特講Ⅱ	2	(2-0)	2~4	後	日本文学の特殊な事項について講義を行う。
RB311	日本文学特講Ⅲ	2	(2-0)	2~4	前	日本文学の特殊な事項について講義を行う。
RB312	日本文学特講Ⅳ	2	(2-0)	2~4	後	日本文学の特殊な事項について講義を行う。
RB313	日本古典文学講読Ⅰ	2	(2-0)	2~4	前	日本古典文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB314	日本古典文学講読Ⅱ	2	(2-0)	2~4	後	日本古典文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB315	日本古典文学講読Ⅲ	2	(2-0)	2~4	前	日本古典文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB316	日本古典文学講読Ⅳ	2	(2-0)	2~4	後	日本古典文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB317	日本近現代文学講読Ⅰ	2	(2-0)	2~4	前	日本近現代文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB318	日本近現代文学講読Ⅱ	2	(2-0)	2~4	後	日本近現代文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB319	日本近現代文学講読Ⅲ	2	(2-0)	2~4	前	日本近現代文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB320	日本近現代文学講読Ⅳ	2	(2-0)	2~4	後	日本近現代文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB321	日本文学史Ⅰ	2	(2-0)	2~4	前	日本文学の歴史的展開について理解する。
RB322	日本文学史Ⅱ	2	(2-0)	2~4	後	日本文学の歴史的展開について理解する。
RB323	中国古典文学講読Ⅰ	2	(2-0)	2~4	前	中国古典文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB324	中国古典文学講読Ⅱ	2	(2-0)	2~4	後	中国古典文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB325	中国古典文学講読Ⅲ	2	(2-0)	2~4	前	中国古典文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB326	中国古典文学講読Ⅳ	2	(2-0)	2~4	後	中国古典文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB327	中国近現代文学講読Ⅰ	2	(2-0)	2~4	前	中国近現代文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB328	中国近現代文学講読Ⅱ	2	(2-0)	2~4	後	中国近現代文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB329	中国近現代文学講読Ⅲ	2	(2-0)	2~4	前	中国近現代文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB330	中国近現代文学講読Ⅳ	2	(2-0)	2~4	後	中国近現代文学の代表的な作品の輪読を行う。
RB331	中国古典文学特講Ⅰ	2	(2-0)	2~4	前	中国古典文学の特殊な事柄について講義する。
RB332	中国古典文学特講Ⅱ	2	(2-0)	2~4	後	中国古典文学の特殊な事柄について講義する。
RB333	中国近現代文学特講Ⅰ	2	(2-0)	2~4	前	中国近現代文学の特殊な事柄について講義する。
RB334	中国近現代文学特講Ⅱ	2	(2-0)	2~4	後	中国近現代文学の特殊な事柄について講義する。
RB335	日本文学野外演習Ⅰ	2	(2-0)	2~4	前	野外での実習を行い、日本文学の歴史的、社会的背景などについて考究する。
RB336	日本文学野外演習Ⅱ	2	(2-0)	2~4	後	野外での実習を行い、日本文学の歴史的、社会的背景などについて考究する。
RB337	琉球文学野外調査Ⅰ	2	(2-0)	2~4	前	野外で実習を行い、琉球文学の資料収集・分析方法について学ぶ。
RB338	琉球文学野外調査Ⅱ	2	(2-0)	2~4	後	野外で実習を行い、琉球文学の資料収集・分析方法について学ぶ。
RB339	朝鮮文学講読Ⅰ	2	(2-0)	2~4	前	朝鮮文学に関する文献を輪読する。
RB340	朝鮮文学講読Ⅱ	2	(2-0)	2~4	後	朝鮮文学に関する文献を輪読する。
RB341	朝鮮文学講読Ⅲ	2	(2-0)	2~4	前	朝鮮文学に関する文献を輪読する。
RB342	朝鮮文学講読Ⅳ	2	(2-0)	2~4	後	朝鮮文学に関する文献を輪読する。
RB343	朝鮮文学特講Ⅰ	2	(2-0)	2~4	前	朝鮮文学の特殊な事柄について講義・報告・討議を行う。
RB344	朝鮮文学特講Ⅱ	2	(2-0)	2~4	後	朝鮮文学の特殊な事柄について講義・報告・討議を行う。
RB345	朝鮮文学特講Ⅲ	2	(2-0)	2~4	前	朝鮮文学の特殊な事柄について講義・報告・討議を行う。
RB346	朝鮮文学特講Ⅳ	2	(2-0)	2~4	後	朝鮮文学の特殊な事柄について講義・報告・討議を行う。

注1 上記の科目から28単位以上修得すること。

言語学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラムコア基盤科目	RG111	中国語学概論Ⅰ	2		(2-0)	2~4	前	中国語と中国語を研究するための基礎的事項について講義する。
	RG112	中国語学概論Ⅱ	2		(2-0)	2~4	後	中国語と中国語を研究するための基礎的事項について講義する。
	RG121	日本語学概論Ⅰ	2		(2-0)	1~4	前	日本語学について、学問研究の基礎を講義する。
	RG122	日本語学概論Ⅱ	2		(2-0)	1~4	後	日本語学について、学問研究の基礎を講義する。
	RG131	琉球語学概論Ⅰ	2		(2-0)	1~4	前	琉球語についての基礎知識について講義する。
	RG132	琉球語学概論Ⅱ	2		(2-0)	1~4	後	琉球語についての基礎知識について講義する。

注1 上記の科目から8単位以上修得すること。

言語学プログラム専門科目（必修科目・選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラムコア発展科目	RG211	琉球語学基礎演習Ⅰ	2		(2-0)	3	前	基礎的な琉球語研究の方法について発表と討議を行う。
	RG212	琉球語学基礎演習Ⅱ	2		(2-0)	3	後	基礎的な琉球語研究の方法について発表と討議を行う。
	RG221	琉球語学演習Ⅰ	2		(2-0)	4	前	琉球語研究の方法について発表と討議を行う。
	RG222	琉球語学演習Ⅱ	2		(2-0)	4	後	琉球語研究の方法について発表と討議を行う。
	RG231	中国語学基礎演習Ⅰ	2		(2-0)	3	前	中国語を研究するための基礎的事項について発表と討議を行う。
	RG232	中国語学基礎演習Ⅱ	2		(2-0)	3	後	中国語を研究するための基礎的事項について発表と討議を行う。
	RG241	中国語学演習Ⅰ	2		(2-0)	4	前	中国語の特質・諸問題を取り上げて発表と討議を行う。
	RG242	中国語学演習Ⅱ	2		(2-0)	4	後	中国語の特質・諸問題を取り上げて発表と討議を行う。
	RG251	日本語学基礎演習Ⅰ	2		(2-0)	3	前	日本語の基礎的事項を取り上げて発表と討議を行う。
	RG252	日本語学基礎演習Ⅱ	2		(2-0)	3	後	日本語の基礎的事項を取り上げて発表と討議を行う。
	RG261	日本語学演習Ⅰ	2		(2-0)	4	前	日本語の特質・諸問題を取り上げて発表と討議を行う。
	RG262	日本語学演習Ⅱ	2		(2-0)	4	後	日本語の特質・諸問題を取り上げて発表と討議を行う。
	RG200	卒業論文	4	○	(4-0)	4	通年	卒業論文を指導する。

注1 上記の科目から12単位以上（卒業論文（必修）4単位含む）修得すること。

言語学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム発展科目	RG301	音声学Ⅰ	2		(2-0)	2~4	前	言語の音声、音韻について学ぶ。
	RG302	音声学Ⅱ	2		(2-0)	2~4	後	言語の音声、音韻について学ぶ。
	RG303	琉球語学特講Ⅰ	2		(2-0)	2~4	前	さまざまな琉球語の事項について講義する。
	RG304	琉球語学特講Ⅱ	2		(2-0)	2~4	後	さまざまな琉球語の事項について講義する。
	RG305	琉球語学特講Ⅲ	2		(2-0)	2~4	前	さまざまな琉球語の事項について講義する。
	RG306	琉球語学特講Ⅳ	2		(2-0)	2~4	後	さまざまな琉球語の事項について講義する。
	RG307	琉球語学特講Ⅴ	2		(2-0)	2~4	前	さまざまな琉球語の事項について講義する。
	RG308	琉球語学特講Ⅵ	2		(2-0)	2~4	後	さまざまな琉球語の事項について講義する。
	RG309	言語地理学実地調査Ⅰ	2		(2-0)	2~4	前	言語地理学のための資料を実地調査によって収集し、言語地図を作成して言語の歴史を学ぶ。
	RG310	言語地理学実地調査Ⅱ	2		(2-0)	2~4	後	言語地理学のための資料を実地調査によって収集し、言語地図を作成して言語の歴史を学ぶ。
	RG311	琉球語学野外調査Ⅰ	2		(2-0)	2~4	前	学外で臨地調査を行い琉球語の研究方法を学ぶ。

プログラム 発展科目	RG312	琉球語学野外調査Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	学外で臨地調査を行い琉球語の研究方法を学ぶ。
	RG313	琉球語学野外調査Ⅲ	2		(2-0)	2～4	前	学外で臨地調査を行い琉球語の研究方法を学ぶ。
	RG314	琉球語学野外調査Ⅳ	2		(2-0)	2～4	後	学外で臨地調査を行い琉球語の研究方法を学ぶ。
	RG315	中国語史Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前	中国語の歴史的展開について講義する。
	RG316	中国語史Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	中国語の歴史的展開について講義する。
	RG317	中国語学特講Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前	中国語学に関する特定のテーマの講義・報告・討議を行う。
	RG318	中国語学特講Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	中国語学に関する特定のテーマの講義・報告・討議を行う。
	RG319	中国語学特講Ⅲ	2		(2-0)	2～4	前	中国語学に関する特定のテーマの講義・報告・討議を行う。
	RG320	中国語学特講Ⅳ	2		(2-0)	2～4	後	中国語学に関する特定のテーマの講義・報告・討議を行う。
	RG321	中国語学講読Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前	中国語学に関する文献を輪読する。
	RG322	中国語学講読Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	中国語学に関する文献を輪読する。
	RG323	中国語学講読Ⅲ	2		(2-0)	3～4	前	中国語学に関する文献を輪読する。
	RG324	中国語学講読Ⅳ	2		(2-0)	3～4	後	中国語学に関する文献を輪読する。
	RG325	日本語学特講Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前	日本語学の各分野をとりあげ、講義・報告・討議を行う。
	RG326	日本語学特講Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	日本語学の各分野をとりあげ、講義・報告・討議を行う。
	RG327	言語学外書講読Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前	言語学に関する外国語文献を輪読する。
	RG328	言語学外書講読Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	言語学に関する外国語文献を輪読する。
	RG329	言語学外書講読Ⅲ	2		(2-0)	2～4	前	言語学に関する外国語文献を輪読する。
	RG330	言語学外書講読Ⅳ	2		(2-0)	2～4	後	言語学に関する外国語文献を輪読する。
	RG331	古典日本語概論Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前	古典日本語の基礎的事項について講義する。
	RG332	古典日本語概論Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	古典日本語の基礎的事項について講義する。
	RG333	日本語文法論Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前	日本語文法論における諸分野についてまなぶ。
	RG334	日本語文法論Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	日本語文法論における諸分野についてまなぶ。
	RG335	書道	1		(2-0)	2～4	後	硬筆および毛筆による書の理論と実習
	RG336	日本語教材研究Ⅰ	2		(2-0)	2～4	前	日本語教育の既存の教材を分析しながら、新たな教材化の方法を学ぶ。(注2)
	RG337	日本語教材研究Ⅱ	2		(2-0)	2～4	後	日本語教育の既存の教材を分析しながら、新たな教材化の方法を学ぶ。(注3)

- 注1 上記の科目から28単位以上修得すること。
注2 文日307 日本語教材研究Ⅰで読み替える。
注3 文日308 日本語教材研究Ⅱで読み替える。

琉球アジア文化学科（歴史・民俗プログラム、文学プログラム、言語学プログラム）

区 分		プログラム			
		歴史・民俗学プログラム	文学プログラム	言語学プログラム	
専 門 教 育	学部共通専門科目	学部共通基盤科目	6	6	6
		平和共生・沖縄理解基盤科目	4	4	4
	学科共通専門科目	学科基盤科目※1	4	4	4
		学科発展科目※2	4	4	4
	プログラム専門科目	プログラムコア基盤科目	8	8	8
		プログラムコア発展科目	12	12	12
		プログラム発展科目	28	28	28
	専門自由科目※3		22	22	22
	小 計		88	88	88
共 通 教 育 ※ 4	教養領域・総合領域・ 基幹領域（情報関係）	健康運動系科目	2	2	2
		その他の領域	18	18	18
		人文系科目	2	2	2
		社会系科目	2	2	2
		自然系科目	2	2	2
		総合科目			
		琉大特色・地域創生科目			
	キャリア関係科目				
	情報関係科目	2	2	2	
		（平和共生・沖縄理解科目群※5）	（ 6 ）	（ 6 ）	（ 6 ）
基幹領域（外国語）	第1外国語	8	8	8	
	第2外国語	8	8	8	
	小 計	36	36	36	
	総 単 位 数	124	124	124	

※1 他プログラムのプログラムコア基盤科目を学科基盤科目として扱う。

※2 他プログラムのプログラム発展科目を学科発展科目として扱う。

※3 専門自由科目とは次のとおりとする。
 ・他プログラム・他学科・他学部提供の専門教育科目
 ・本プログラムの選択科目の履修要件を超えた専門教育科目
 ・卒業要件に相当する単位数を超えた共通教育科目（10単位まで）

※4 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。
 共通教育科目のうち、教養領域（健康運動系科目）および基幹領域（外国語）を除く合計が18単位以上になるよう履修すること。
 その際、人文系科目、社会系科目、自然系科目からそれぞれ2単位以上取得すること。
 さらに、平和共生・沖縄理解科目群の科目も6単位以上取得すること。
 平和共生・沖縄理解科目群の科目はそれぞれ人文系、社会系、総合領域の単位としてもカウントされる。

※5 平和共生・沖縄理解科目群

科目番号	科目名	科目番号	科目名	科目番号	科目名
人06	西洋思想と日本・中国の思想	総62	環境と文学	琉33	現代の国際関係
人09	環境の哲学	琉01	平和論	琉41-2	琉球アジア研究入門
人19	人間と宗教	琉02	核の科学	琉46	沖縄の政治と社会
人42	東洋の歴史と文化	琉03	女性と社会	琉48	うちなーぐちあしび
人43	西洋の歴史と文化	琉05	沖縄の基地と戦跡Ⅰ	琉50	沖縄の学力と教育
人44	日本の歴史と文化	琉06	沖縄の基地と戦跡Ⅱ	琉51	琉球語入門Ⅰ
人47	宗教と世界	琉14	琉球の文学	琉52	琉球語入門Ⅱ
人67	比較思想文化論	琉22	琉球の自然	琉54	沖縄の歴史入門
社06	戦争と平和の諸問題	琉23	琉球の自然保護	琉55	琉球学入門
総12	環境の保全	琉24	沖縄のサンゴ礁	琉56	琉球の自然と人
総14	環境問題	琉25	琉球弧の自然誌	琉71	現代沖縄地域論
総47	総合環境学概論	琉26	琉球の地理		

【履修方法】

1. 一学期に登録できる単位数の上限は、20単位である。ただし、集中講義はこの中に含まない。
 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
 また、教員免許等の資格取得予定者には指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
2. 琉球アジア文化学科の学生は、三つのプログラムから一つを選び、卒業までにそのプログラムが必要とする単位を修めること。
 また共通教育科目「琉球アジア研究入門」および学部共通科目「琉球アジア研究概論」は、琉球アジア文化学科の学生の必修科目であるので全員取得すること。
3. 教員免許を取得したい学生は、教育学部の提供する教職科目以外に教員職員免許法施行規則第3条又は第4条により必要な科目を履修すること。

学部共通科目（教職科目）

科目区分	科目番号	授 業 科 目	単位数	必修	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
教職課程	HS401	教職実践演習（中高）	2		(2-0)	4	後	教職課程の履修全体を振り返り、模擬授業等を通じて実践力量のさらなる向上を図り、教員としての必要十分な資質を獲得できたかどうかの最終確認を行う。
	HS402	教職実践演習（高）	2		(2-0)	4	後	教職課程の履修全体を振り返り、模擬授業等を通じて実践力量のさらなる向上を図り、教員としての必要十分な資質を獲得できたかどうかの最終確認を行う。
	HS211	国語科教育法D	2		(2-0)	3	後	中・高校の国語科教育の具体的課題についての考究
	HS212	国語科教育法A	2		(2-0)	2～3	前又は後	
	HS213	国語科教育法B	2		(2-0)	2～3	前又は後	
	HS214	国語科教育法C	2		(2-0)	2～3	前又は後	
	HS215	公民科教育法Ⅰ	2		(2-0)	2～3	前又は後	
	HS216	公民科教育法Ⅱ	2		(2-0)	2～3	前又は後	

学部共通科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授 業 科 目	単位数	必修	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
キャリア形成科	HS201	キャリア演習Ⅰ	2		(2-0)	2～3	前又は後	自らのキャリアデザインを見据えた就職活動の開始準備
	HS202	キャリア演習Ⅱ	2		(2-0)	2～3	前又は後	本格的な就職活動に向けた具体的な活動の開始準備